

わくわく・わくわく・ドキドキ

編集会議

特集記事は大昔の暮らし体験

7月14日(土)、雨が降る中、わたしたち豆記者10人は、子ども広報「なでしこ」の編集会議をしました。激しく降る雨と、初めて会う人たちを前に不安な気持ちになりました。でも、会議が進むに連れて少しずつ慣れてきて、わたしたちの心の中は、外の天気とは違って、だんだんと晴れやかになり、とても明るくなってきました。

話し合いの結果、今回の特集記事は「大昔の暮らし体験」に決まりました。7月14日(土)、雨が降る中、わたしたち豆記者10人は、子ども広報「なでしこ」の編集会議をしました。激しく降る雨と、初めて会う人たちを前に不安な気持ちになりました。でも、会議が進むに連れて少しずつ慣れてきて、わたしたちの心の中は、外の天気とは違って、だんだんと晴れやかになり、とても明るくなってきました。



村上亮記者 牧野里香記者



大山遥生記者 林果奈枝記者

福島美友記者 帆足真鈴記者 岩出純記者 岡崎由仁記者

おおむかし 大昔の暮らしってどんな暮らし？

はくぶつ かん あかし 博物館・明石さんの

おおむかし はや こうざ 大昔早わかり講座!



あかしあけし 明石新さん

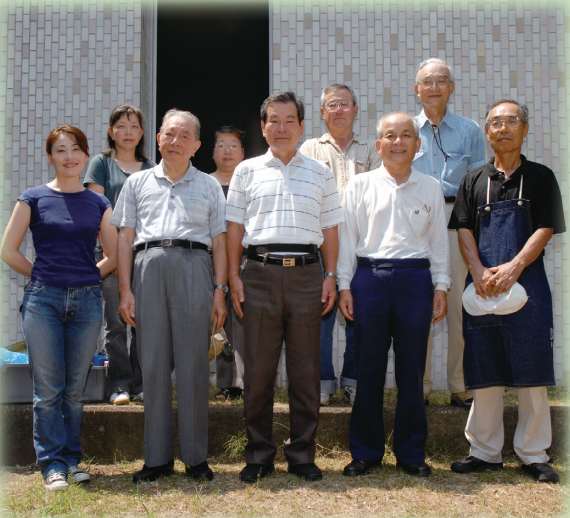


大昔、といってもこれからみんなが勉強する弥生時代はざっと2000年前。縄文時代は1万年以上前までさかのぼります。1万年前って想像がつくかな？例えば、みんなのお父さん・お母さんのそのまたお父さん・お母さん、つまりおじいさんや

おばあさんがみんなと同じくらいの年だったのが約50年前。そう考えると想像できないくらい大昔だね。そのころの生活はテレビゲームなんでものはもちろん、電気やガスもない。コンビニやスーパーマーケットだってないから、みんな自分で食べる物をとってきて、自分で火をおこして料理したんだ。服や家だって自分で作ったんだよ。そういう生活を「自給自足」というんだけど、この時代は学校もないから大人も子どもも関係なく家族全員で働いたんだ。えっ？ 学校がないから勉強がなくていいなんて？ そんなことはないよ。

たちから生きていく上で必要な生活の知恵を教わったんだ。今の暮らしとは大分違って不便だと思うかもしれないけど、それだけじゃないんだ。大昔の暮らしには大昔の暮らしなりの良いところもあるんだよ。みんなもそんな大昔の人たちの生

今の暮らしとは、まったく違った自然の中での暮らしだったので生きていくことさえ大変だったんだよ。みんなで協力しなければ生きていけなかったし、学校はなかったけれど、子どもは親や周りの人



古代生活実験室のみなさん

活の知恵を博物館の「古代生活実験室」の人たちと一緒に体験して、その時代の人たちがどんな暮らしをしていたかを考えてみよう。きっと今の時代にも通じる大切なものがあるはずだよ。